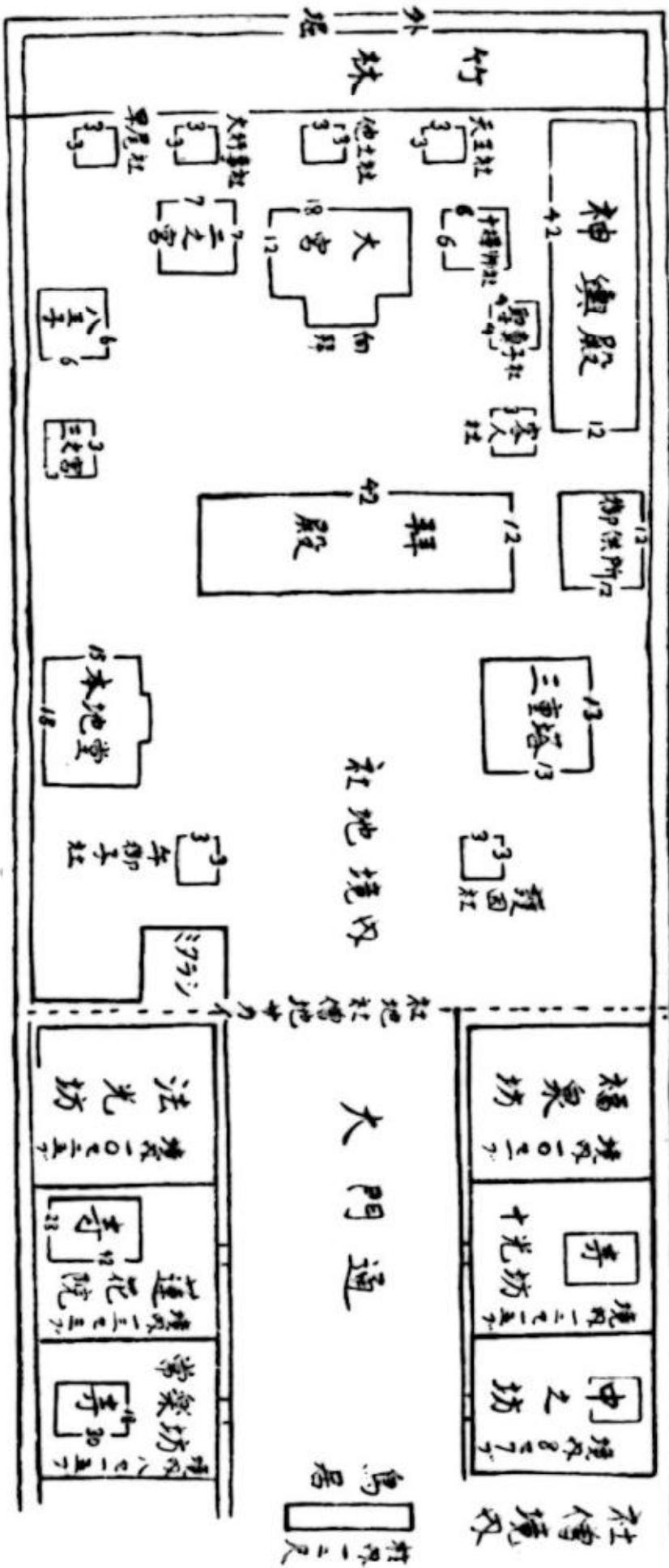
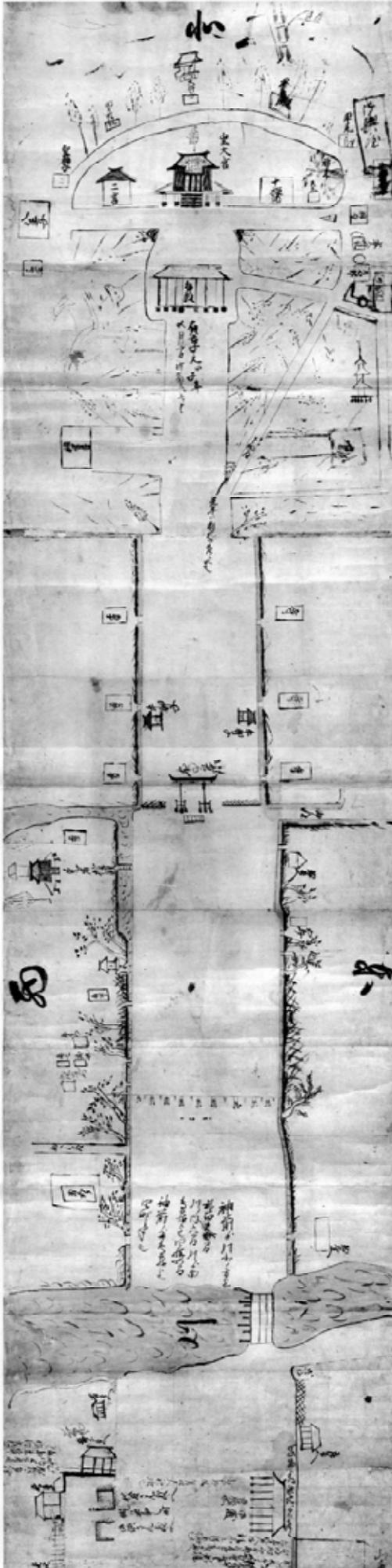


3 · 古絵図

江戸時代後期の日吉神社



山王社古絵図（貞享元年）



大行事 坂本の本社では大年の神として祀られているが大物忌社とし今は東小社に合祀されている（高、傳）

その下四角 古い氏神白鳥神社ではないか（高）

西方田戸権現 氏神で多度神社である（高）

東方早尾 現在小社に合祀される早尾神社（高）

右の二社の位置は東西入れ変わっているのではないか（傳）

西下聖真子 宇佐之宮 四尺四方

東神輿屋 神輿七社全部が納められていた七間×二間（高、傳）

その下神明 氏神様で本町、福井へ出られた（高） 現在小社に合祀（傳）
（両説とも不確）

客人権現（客人宮） 三尺四方

その下大明神 今では分らない

御供所 現在残っている薪小屋か？ 二間四方

大社壇上

中央山王大宮 三間二間

左二宮 七尺四方

十禪師（樹下之宮） 六尺四方

天王 力の神で、井田へ出られた 三尺四方（高）

神木 大きな桜の古木で神々が宿られると信じられていた（高）

中央の拝殿 現在と変わらない位置にある

八王子（牛尾宮） 六尺四方

三宮 三尺四方

三重塔 現在地、本来ならば大日如来を祀るのであるが三重塔自体が大日如来（智恵の仏）を表し当山王社の塔には観音様が祀られている理由及び時期は分らない（善学院） 二間三尺五寸四方 高サ相輪頂上迄十七間一尺

（明治十五年の存続願）

下向道 正式参拝の帰り道であろう

制札の件 制札場があった（高）尚本町と横町の角（札の辻と云われた所）及び鍛冶屋町と川西の境にも高札場があった（傳）

神宮寺 石原家の地図には本地堂三間二間半とあり本地仏を祀った 明治初年の神仏分離で壊された

牛御子 東西に牛御子があるは間違い東側は護国社（護因社？）である（高、傳）
三尺四方

寺（東側）寺の件全部（傳）

北福泉坊 一反一步

中十光坊 一反二畝十五歩 寺長五間、横三間

南中之坊 八畝七歩 寺長五間、横三間

全（西側）

北法光坊 一反二十五歩

中蓮華院 一反三畝三歩 寺長六間、横四間

南常樂坊 八畝十五歩 寺長五間、横三間

鳥居 今と変りない

愛宕権現 凡そ今の位置である

その北の寺 確かではないが宮町の地藏堂ではなく安樂寺であろう（傳）

西の字の下に宮とある絵も分らない

注連縄 今も祭りに張られる所と変りない

御旅所 今と変りない 七間二間

西側棧敷 今も遷御の時に作られる

唐崎神社 川の辺にある筈だが絵図では見当らない

川の絵の上部に記入文字のうち川より南鳥居迄四十五間とある ……今の本町中央近く迄馬場であったのかも知れない

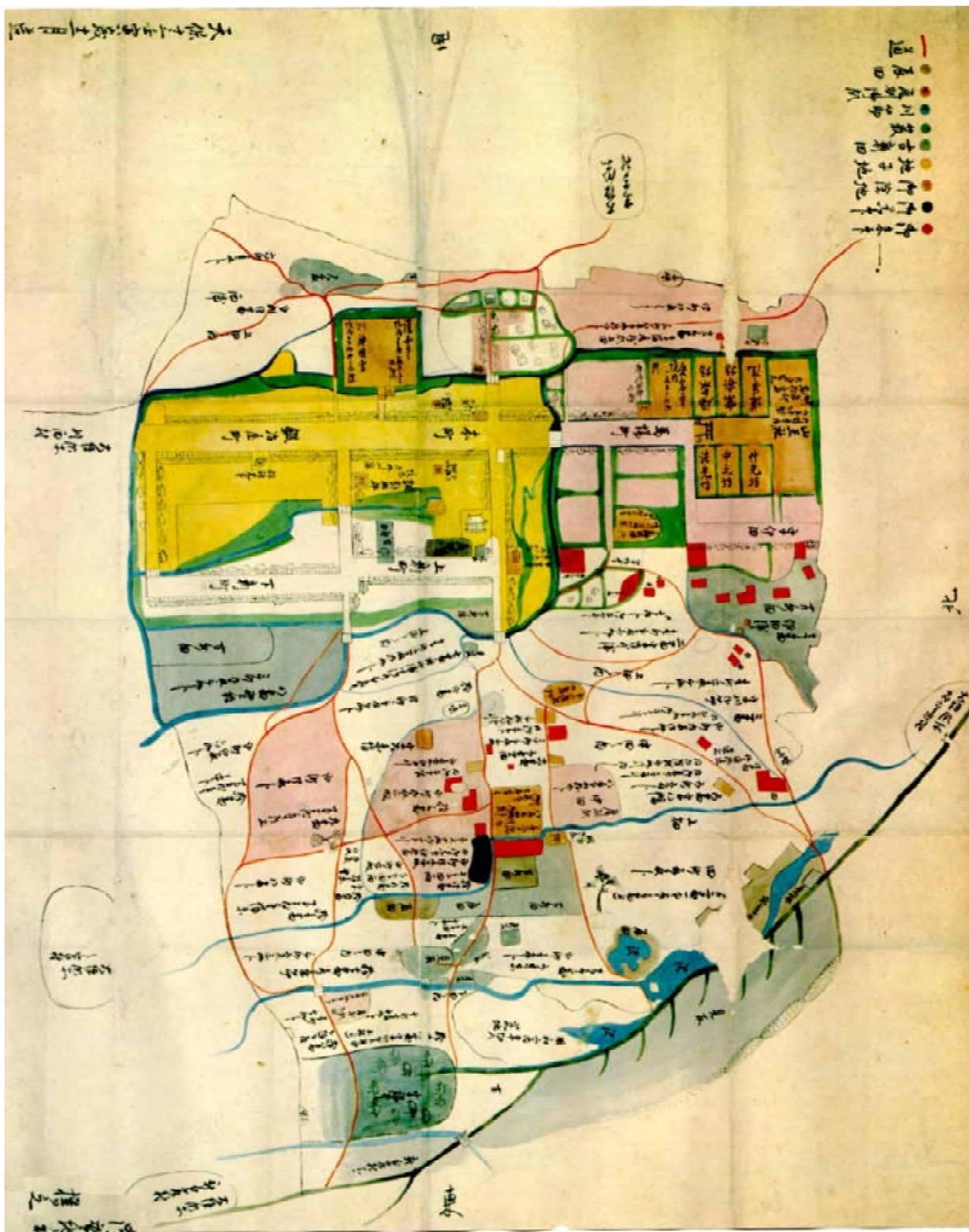
寛永年間（一六三〇頃の棟札に馬場衆十六戸とあり皆高橋姓であったがこの絵図には民家が九戸しかない（高）

察するに紛失した部分に民家や鳥居高札場があったのであろうが三百余年前の物を探す事が出来ないのは残念である

註 （高）高橋宗太郎様

（傳）石原傳兵衛様

神戸村絵図（天保一三年）



日吉新宮境内図



行事の御案内

1月 1日	祭	旦	祭
1月15日	祭	交通安全祈願祭	
1月末(日曜日)	祭	厄除け・長寿・合格祈願祭	
2月17日	祈	年	
5月 3日	祭	例大祭	祭
5月 4日	祭	例大祭	祭
6月30日	祭	例大祭	祭
7月16日	祭	早尾神社	祭
9月21日	祭	境内	祭
11月第2土曜日、日曜日	祭	境内	祭
11月15日	祭	境内	祭
11月23日	祭	境内	祭

平成29年 掲示